

(様式例2)

学校名 栃木市立国府北小学校	学年 5年生	教科：単元名 国語：すいせんします
利用したもの H30とちぎっ子学習状況調査 5年 国語 大問6	概要 国語科で、考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関係付け、推薦文を書いて、発表する活動をしました。単元の終末に、学習したことが身に付いたかの確認問題に使いました。	
1 <u>ねらいの確認</u>		
すいせんするもののよさが伝わる話になっているか、発表を聞こう		
2 友達の発表を聞く。		
○ 聞く観点 <ul style="list-style-type: none">・ 推薦する内容が目的や条件に合っているか。・ 集めた情報を、推薦する理由としてまとめているか。・ 声の強弱・速さ・間の取り方などを意識して話しているか。		
		
3 <u>振り返り（確認問題）</u>		
・ 自分で文章を書いたり、友達の話を聞いたりした活動後に、集めた知識や情報から目的に合ったものを選べることを調査問題で確認しました。		
※ 問題には、資料や表が複数提示されていたので、問題を読み終わるまで、時間が掛かりました。また、その資料や表が何を表しているのかが理解できず、戸惑っている様子でした。		
※ 4月の実施と比べ、平均正答率が上がりました。		
感想等		
・ 集めた情報を整理・分析し、推薦する理由とするわけですが、児童は整理・分析が不十分でした。そのため、目的や条件に合った理由が考えられない児童が多いです。		
・ 知識や情報の整理・分析の手順として、		
①情報を列記する。		
↓		
②仲間分けをする。		
↓		
③グループに名前を付ける。		
などの方法に取り組みせたいと思います。		

学校名 下野市立吉田西小学校	学年 5年生	教科：単元〈題材〉名 国語：グラフや表を用いて書こう
-------------------	-----------	-------------------------------

利用したもの H28 全国学力学習状況調査 国語B 大問2	概要 自分の考えの裏付けとなる統計資料を探す際の着眼点を見つける学習で使った。
-------------------------------------	--

- 1 本時のめあてを確認する。
- 2 調査問題を例に、資料の着眼点を考える。
※資料と問題文から、自分の考えに説得力をもたせるために、どこを着眼点にすればよいかを見つける活動をした。
- 3 振り返りをする。

成果と課題

○成果

・右の写真のように、文章の部分がグラフのどこに当たるのか、線で結ぶことによって、どこに注目するのかが分かった。グラフ全体ではないことにも気付くことができた。

五月三日(火)

五年一組

自分の考えをうらまわける資料を探すわけポイントを見つけてよう。

【報告文の一部】

○「早ね早起き」活動のまとめ

1 成果

アンケート調査の結果、これまでの半年間の活動が成果を上げていることがわかりました。

〈図1〉のように、活動を始める前の五月の時点では、「次の日に学校がある日」に夜十時を過ぎても起きている人の割合が全国平均を上回り、早ねができていないとはいえませんでしたが、それが半年間の活動後には、夜十時までにねる人の割合が全国平均より増え、 63.7% へと増えました。その理由として、「 \rightarrow 」から、「成長に大事な睡眠を十分に取るために、夜十時まではねましよう。」という保健室の先生のお話みんなの心に残ったのだと考えます。他にも、毎日体を動かすように、体育がない日にクラスで外遊びを行う活動や、「健康せんげんカード」に早ね早起きができたらを記録する活動を行ったこともあげられます。

〈図1〉 次の日に学校がある日は、ふだん何時ごろにねますか。

Category	10時より前	10時から11時より前	11時より前
全国平均	56%	38%	6%
5年1組(5月)	25%	63.7%	11.3%
6年1組(11月)	10%	53.6%	36.4%

○前全国平均は、文部科学省「平成26年度全国学力・学習状況調査」による調査結果。一歳未満の子どもの保護者となる方の対応者の割合に異なる調査結果には基づいていません。

2018.11.27

△課題

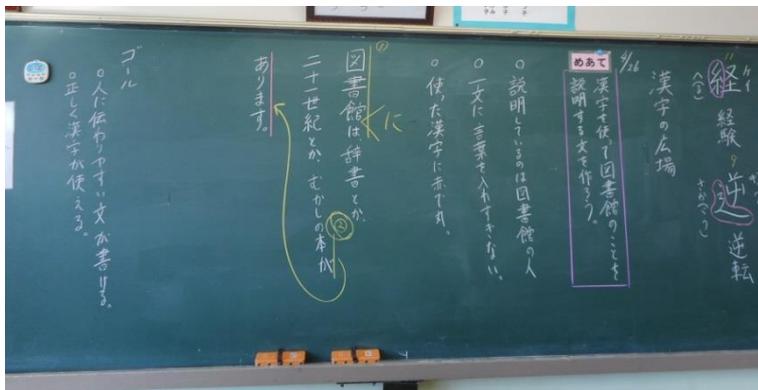
・「読むこと」の授業ではないので、「書くこと」のねらいを意識した発問ができるとよかった。

(例) この資料から、どのように書けばよいか。

学校名 下野市立吉田東小学校	学年 5年生	教科： 単元名 国語： 漢字の広場①（光村図書）
--------------------------	------------------	------------------------------------

利用したもの H30全国学力学習状況調査 国語A 大問5	概要 国語科で、漢字を使って短作文を作った後に、主述の關係にねじれがないか推敲し、その力が付いたかどうか確かめるために本問題を取り入れた。
---	---

<p>授業の展開</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 めあてを確認する。 2 教科書の漢字の読み方・意味を確認する。 3 作文をする際のポイントを共有する。 4 短く作文する。 5 グループで読み合い、推敲する。その際に推敲のポイントを共有する。出てきた文章の中で主述のねじれがあるものを取り上げ、その直し方を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ※・自分が普段作文をしていて、よく間違えることを確認できていた。 ・主語に「感想は」「考えたことは」などを入れてしまうと、その後の文が書きにくく、間違った述語を使っていることに気付いた。 6 <u>主述のねじれに気付く力が付いたかどうか確かめるために、調査問題を活用する。</u> 7 振り返りをする。

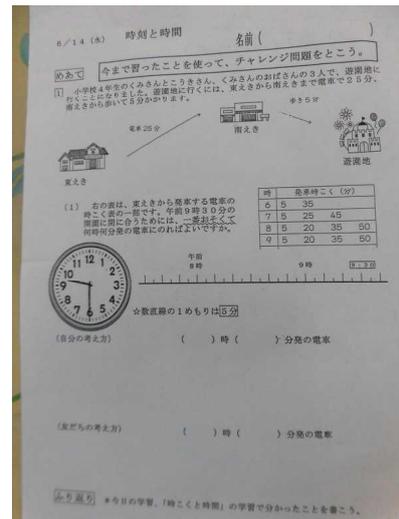


<p>感想</p> <p>○作文の添削をする際に、気になる間違いを解決したいと考え、授業を組み立てた。主語の選択を誤ると、述語が限定されて、その後の文が書きにくくなることを意識させたいと考えていた。ちょうど調査問題にも同じことが出題されていたので、この問題ができるようになることで、作文にも生きていこうと考え、振り返りの問題として活用した。</p> <p>○『漢字の広場』の学習は、漢字を使って作文したり、全学年の既習漢字の確認をしたりすることでまっていたので、「ここで文法的な部分も補ってみてはどうか」という学力向上アドバイザーからの助言をもとに、付けたい力を明確にした授業を行うことができた。</p>

学校名 栃木市立国府南小学校	学年 3年生	教科：単元〈題材〉名 算数：時こくと時間
-------------------	-----------	-------------------------

利用したもの H 2 9 とちぎっ子学習状況調査 4 年 算数 1 6 (1)	概要 算数科の単元のまとめで発展問題として 1 時間の授業を行いました。
---	--

- 1 単元の既習内容を振り返る。
- 2 時刻表の読み方を知る。
* 学校前にあるバスの時刻表を表示して読み方を教え、もう少し本数がある電車の時刻表を全員で確認しました。
- 3 学習問題を知り、問題を解く。
* (1) だけの作業用紙を作成しました。
* 一人で考え、グループで話し合っ、考えをまとめました。
* 文章題が苦手な児童が学習問題を示したときに、意欲的な顔を見せました。一人では解決が難しい児童もグループで話し合うことで、解くことができました。
- 4 自分たちの考えを発表する。
- 5 振り返り



感想等

自分が教えた児童がこの問題が全然解けなかったと聞き、時刻表の問題が教科書のステップアップ問題に載っていたのに扱わなかったことを反省しました。そこで、今年度はきちんと時刻表の読み方を教えたいと思い、この問題を授業で扱おうと思いました。思ったより問題を解決するのに時間がかかり、発表も1グループしかできず、振り返りまでできませんでした。「午前9時30分の開園に間に合うためには、いちばんおそくて、何時何分発の電車に乗ればよいですか。」という問題の意味が分からない児童が多かったです。時刻表の読み方だけでなく、日常生活でも、時間を逆算して、行動をすることが必要だと感じました。